

令和4年度事業報告

公益財団法人交通文化振興財団

令和4年度は、新橋～横浜間に鉄道が開業してから150周年の節目であり、全国的に鉄道への関心が高まる一方、新型コロナウイルス感染症と闘いながら経済活動を再開させていく1年となった。

京都鉄道博物館においては、感染拡大防止策を継続しつつ、鉄道150周年に関連する各種のイベントを効果的に展開することにより、4月から8月までは入館者数が月別目標を下回ったものの、9月から翌3月までは全国旅行支援の後押しもあって、月別目標を大きく上回る実績を残した。この結果、当年度の有料入館者数は676千人（対目標107.4%）となった。

事務局では、交通資料調査センターにおいて、職員、関係者の感染防止に配慮したうえで、資料の収集、保存、調査、研究業務を継続的に行うとともに、デジタルアーカイブ「交通文化振興財団デジタル資料館」の運営や、外部団体の企画への調査・資料協力、歴史遺産の講座・見学会を通じて交通の歴史資料を保存する意義の社会への浸透を図った。また、事務局ブログ等のweb媒体を活用し、情報発信や寄附金懇話活動を実施した。

I 博物館運営等を通じた交通文化の振興

1 京都鉄道博物館

(1) 鉄道150周年記念イベント等

ア 鉄道開業150周年記念企画展「鉄道いろいろは展」(10/8～2/12)

鉄道開業から現在まで、新幹線・特急・通勤電車などの鉄道車両をキーワードに車両の色、沿線の特色、関西の国鉄・私鉄の特徴など鉄道の歩みとともに解説。

イ 鉄道開業150周年記念イベント

- ・「汽笛吹鳴」(4/28:500系新幹線電車、4/29:C62形蒸気機関車、7100形蒸気機関車)
- ・「3館連携スタンプラリー」(8/5～12/29 鉄道博物館、リニア鉄道館、当館にて実施)
- ・記念シンポジウム「関西の鉄道と鉄道における研究開発活動」(10/15)
- ・リレー企画「3館館長トークショー」(鉄道博物館11/23、リニア鉄道館12/10、当館1/21)

ウ 鉄道の日イベント

「特別なスチーム号運行」、「C62形1号機塗り直し竣工&マイテ49形2号車収蔵お披露目式」、「SLたちの頭出し展示」、「EF58形150号機記念ヘッドマーク掲出」、「静態保存SL転車台展示」(10/6～31)

(2) 常設展示

ア 新規展示

- ① 本館2F「列車にのろう」車両模型の変更(9月、10月)
- ② 本館2階「列車にのろう」船舶・高速バス、航空機関係資料展示(11月)
- ③ 本館1階「鉄道のあゆみ」国鉄列車ポスター(2月)
- ④ 本館1階「車両工場」等での車両展示

117系電車（5/12～17）、若桜鉄道「隼ラッピング列車・オートバイ」（7/1～7/18）、オヤ31形建築限界測定車（7/26～8/14）、貨物機関車 EF66・EF65・コンテナ貨車（8/20～28）、多機能鉄道重機（9/19～10/2）、115系電車（11/3～11/6）、YANASE Mercedes-Benz（11/19～27）、キハ189系日本旅行乗入れツアー（5/28、12/3）、JR四国キハ185系（12/9～20）、DEC741形事業用車（12/22～26）、「WEST EXPRESS 銀河」（12/28～1/5）、JR東海「キハ85系、HC85系」（2/23～3/5）、「花嫁のれん」（3/19～21）

イ 展示品整備

鉄道ジオラマの模型車両のモーター・台車の整備調整、「列車を安全に走らせよう」の車両及び線路メンテナンス、運転シミュレータのメンテナンス、パンタグラフ修繕、展示車両修繕（103系車体塗装、0系戸ゴム交換等）、実物車両内電灯交換、実物車両前照灯交換 等

ウ 特別な車両公開

土曜・日曜・祝日に車内の特別公開を実施した。（毎月1車両）

4月 500系新幹線電車521形1号、5月 0系新幹線電車35形1号、6月 クハネ581形35号、7月 クハ489形1号、8月 500系新幹線電車521形1号、9月 0系新幹線電車16形1号、10月 0系新幹線電車35形1号、11月 100系新幹線電車122形5003号、12月 キハ81形3号、1月 500系新幹線電車521形1号、2月 クハネ581形35号、3月 モハ80形1号

エ 施設、設備工事

- ① 消防設備、空気環境測定、水質検査測定等の定期点検対応
- ② コロナ対策を含めた館内案内サインの修正・追加
- ③ 大型機器保守点検、防火シャッター点検、AED設置台数変更と日常点検
- ④ ミュージアムショップ運営会社変更に伴う工事対応
- ⑤ EF58-150油漏れ対応（4/6）
- ⑥ 運転シミュレータ有料化対応（6/2）
- ⑦ 手洗い石鹸PUSH釦部品交換（TOTO対応）

オ 資料収集

資料受贈82件4,391点（ポスター、車両取扱説明書、駅弁掛け紙、乗車券類、写真等）

図書室利用490人、質問79件（明治33年当時の踏切・敷石の規格、SL運行期間と形式、駅名改称時期、鉄道省「工」マークの使用開始時期等）

(3) 企画展、資料展

ア 企画展等

企画展「アイ♥(ラブ) 鉄道標識」（5/21～7/10）

鉄道を運行する係員に情報を伝達する“鉄道標識”や利用者に情報を伝達する鉄道案内板について解説。講演会「鉄道の看板を愛でるツボ」（6/25 中西あきこ氏）を実施。

イ 資料展等

- ① 「なつかしの交通科学博物館～大阪環状線とともに～」（12/4～4/3）※令和3年度からの継続
- ② 「“はじまり”のポスター」（4/9～7/31）
- ③ 「Nゲージで見る鉄道を彩った名車たち」（8/6～11/27）
- ④ 「鉄道制服」（12/3～4/2）※令和4年度へ継続

ウ 収蔵写真展

- ① 「ディスカバー・ジャパンの旅」(4/2～7/24)
- ② 「安全を支えるくるま～事業用車と保守車両」(7/30～12/4)
- ③ 「カラーで見るいろいろな列車」(12/10～4/9) ※令和4年度へ継続

(4) イベント等

ア 春イベント「チャギントンランドMINI in 京都鉄道博物館」(3/19～5/10) ※令和3年度からの継続
イ 開館6周年記念イベント：セレモニー、大瀬戸千嶋コンサート、記念硬券配布、新幹線運転講座等
(4/29～5/8)

ウ 夏イベント「きかんしゃトーマスとなかまたち in 京都鉄道博物館」(7/16～9/25)

エ 車両特別展示関連イベント

- ①若桜鉄道：自治体キャラクターグリーティング、自治体PR・物販(7/1～18)
- ②多機能鉄道重機：講演会(金岡博士氏、JR西日本電気部電気技術室長 木村秀夫氏 9/24)
トークショー(ゆうきまさみ氏、金岡博士氏 9/25)
- ③JR四国キハ185系：「HM掲出」(12/10～17)、「特別講演会」(JR四国顧問 松田清宏氏 12/17)

オ 京都鉄道博物館ナイトミュージアム(10/28～30)

カ 500系新幹線「500TYPE EVA-02」ラッピング展示(10/28～1/29)

キ 「スキマモリのぼうけん in 京都鉄道博物館」(11/12、13)

ク 関西の私鉄が京都鉄博にやってきた！～近鉄・南海編～(11/26、27)

ケ 新春SL頭出し展示(1/2～9)

コ 春イベント「プラレールフェスティバル in 京都鉄道博物館」(2/25～5/7)

サ 京都鉄博LINE公式アカウント友だち限定大感謝DAY!!(3/18)

シ 地域協力イベント：下京・京都駅前サマーフェスタ2022(8/1～9/3)、京都七条通界隈商店街
スタンプラリー2022(12/5～1/31)、歴史街道デジタルスタンプラリー(11/
1～5/31※令和4年度へ継続)、第57回京の冬の旅入館特典(1/1～3/27)

ス 第26回京都ミュージアムロードスタンプラリー(1/25～3/19)

セ 各種ワークショップ等の実施

車両解説セミナー：「100系新幹線」(5/14、15)、「489形1号車」(10/22、23)、「DD51形756号機」
(11/12、13)

展示品解説セミナー：「腕木式信号機」(4/16、17)、「硬券印刷機」(7/2、3、8/23、1/8、
9)、「通票閉塞器」(9/17、18)

工作教室：「標識 de 缶バッジ」(6/11、12)、「いろいろ！オリジナル缶バッジをつくろう」(12/17、
18)、「オリジナルトレイン缶マグネットをつくろう」(3/11、12)

その他：こどもサイエンスワークショップ「身近な電気と鉄道」(8/9～11)、鉄道映像上映「シ
ロクニをはしらせる」(2/11、12)、C62形蒸気機関車運転台見学(1/28)

「鉄道おしごと体験」：「運転士」17回、「車掌」16回、「駅」8回、「車両」「機械」「土木」
「電気」「保線」各1回

館内ガイドツアー：「事前予約で楽しむ京都旅」(京都市観光協会主催 年間計23回実施)

ソ 学芸員講座「おとなの学び講座」(4/21、5/19、6/16、7/21、9/15、11/17、12/15、1/19、

2/16、3/16)、特別編8/18

タ 部外出展協力：JR大阪駅「真夏の鉄フェス」(7/22、23)、ジェイアール京都伊勢丹「サマーフェスタ for キッズ」(7/29)、イオンモールKYOTO「京都鉄道博物館ワークショップ」(8/27、28)、OSC「鉄道フェス2022」(10/14)、イオンモール京都桂川「鉄道博2022」(10/14～16)

(5) 定例行事・活動

- ア 鉄道ジオラマの運転 : 2,177回、観覧者数225,334人(約103人/回)
- イ S Lスチーム号の運転: 運転回数2,775回、乗車人員 241,862人(約87人/回)

(6) 広告・宣伝・誘致活動

項目	数量
ア JR媒体	
(ア) ポスター等の掲出	(イベント、通年ポスター) 6回
(イ) 西NAVI、ウエスト倶楽部会報誌等の掲載	6回
イ 案内チラシの配布	10,000枚
ウ マスコミへのパブリシティの配布 (関係記者クラブ、出版関係各社等)	合計約100箇所へ配布 57回
エ 誘致活動	
(ア) ホームページアクセス件数 (2022.4.1～2023.3.31)	2,584,091件 (1日平均7,080件)
(イ) フェイスブック投稿件数	277件(1ヶ月平均23件)
(ウ) マスコミ取材対応	330件
(エ) LINE@による情報配信	
・お友達登録数	88,005人(年度末総累計)
・情報配信(クーポン配信含む)	34件(1ヶ月平均2.8件)
(オ) インスタグラム投稿	110件(1ヶ月平均89.2件)
(カ) Twitter投稿件数	441件(1ヶ月平均34.3件)

(7) 教育普及活動

- ア 教育普及活動の実施
 - ・連携授業：京都産業大学「O/OCF-PBL2」(4月～9月)、大学コンソーシアム京都単位互換事業「京都ミュージアムPBL」(6月～12月)、東京都立大学「連続講座」(5/21、28、6/4)
 - ・博物館実習の受入れ：関西大学授業42名(6/26)、学芸員実習5名(7/25～29)、京都市立芸術大学24名(10/18)
 - ・SDGsプログラム：京都市教育委員会校長会への説明(7/1)
(実施数) 入門編5校、初級編2校、中級編3校、上級編1校
 - ・中学生職業体験：京都市立檜原中学校2名、京都市立栗陵中学校2名

- ・外部講座への出講：大阪府高齢者大学校（9/16）、四国笑狸会（9/30）日本旅行（11/3）、関西大倉中学校（3/11）、日本鉄道OB会高槻支部（3/19）
- ・大分県アバター授業（遠隔授業）の受入れ：2校（12/13）
- ・京都環境フェスティバル2022（ビデオ参加）（11/11～12/11）

(8) 博物館関係コミュニケーション活動等

- ア 全国博物館館長会議（7/6）日本博物館協会近畿大会（11/4）、全国博物館大会（11/16～17）、関西博物館連盟例会・研修会参加（12/1）
- イ 近代遺産活用協議会（11/21～22）
- ウ 鉄道工友会 西日本支部 WEB 講演会参加（12/9）
- エ 全国科学博物館協議会「令和4年度第1回総会」（7/7）、「令和4年度第2回総会、研究発表大会」（2/15～16）
- オ 京都市観光施設協議会常任理事会（8/12）、総会（9/5）
- カ 行政等の視察受け入れ（仙台市11/15、北海道三笠市11/18、福岡市11/24）
- キ 京都市帰宅困難者対策訓練（12/6）、※協定締結式（8/23）

(9) 施設時間外利用

- ア 結婚式等利用：開館前挙式1件（5/2）、閉館後の前撮り撮影10件（5/28、6/3、19、8/5、9/13、10/21、2/10、27、3/19、20）
- イ 休館日貸切利用：3件 ヤマハ株式会社（7/6）、京都フィルハーモニー室内管弦楽団（銀河鉄道トワイライトコンサート10/19）、京都市日本保育協会（11/9）
- ウ 閉館後貸切利用：13件 京都府教職員互助組合（7/30）、ジェイアール東日本企画（9/10）、都市近鉄京都駅（10/9）、堀場製作所（10/17）、HIS（11/26）、NPO 法人（12/18）、岩倉高等学校（3/11）、JR 西日本（株主施設見学会3/25）、個人等（8/1、10/15、12/4、12/10、12/11）

(10) 入館者数の状況（入館者数の詳細は「別表1」のとおり。）

（単位：千人）

項目	京都鉄道博物館
令和4年度	676

2 事務局における文化遺産調査及び交通資料の収集・保存に関する事項（交通資料調査センター）

交通に関わる文化遺産の調査や歴史資料の収集・保存については、交通文化の継承と資料の散逸防止及び今後の公益活動の充実のため、財団事務局内の交通資料調査センターにて引き続き活動を実施した。令和4年度においては、前年度に続き資料の寄贈申し込み件数が増加となるとともに、鉄道遺産に関する特別講座の共同開催や鉄道150年に関わる記事の掲載など外部と連携した活動にも取り組んだ。主な交通に関わる文化遺産の調査及び交通資料の収集、保存、公開の活動は以下のとおりである。

(1) 交通関係歴史資料の収集・保存

交通に関わる歴史資料を適切な環境で保存、管理するため、収集、整理・整備を行い、写真資料やガラス乾板、文書資料等の収蔵資料のデジタル化作業を実施した。また、錦絵の再デジタル化と保存容器の更新、上記のデジタル化作業とあわせてガラス乾板の修復処理を実施するなど、資料の適正に合わせた保存環境の整備を進めた。

- ・ 図書・資料の購入 73 点
- ・ 受贈 52 件 4,339 点
- ・ 資料・図書の整理・登録 資料 2,713 点 図書 1,447 点
- ・ 資料のデジタル化 20,843 点

(2) デジタルアーカイブの運営

交通資料調査センターの所蔵資料を web にて公開する、デジタルアーカイブ「交通文化振興財団デジタル資料館」の掲載データの追加等を実施した。

令和4年度末掲載点数	14,467 点
令和3年度末掲載点数	11,990 点
年度内追加点数	2,477 点

(3) 文化遺産調査

日本各地に残された交通に関する施設や建造物、車両、文書等の文化遺産について、文化遺産の現状確認と来歴や諸元等を記録保存するための現地調査及び文献による事前事後調査を実施し、文化遺産の後世への継承に努めた。また、鉄道遺産や収蔵資料に関する記事を、外部が発行する情報紙に寄稿し鉄道遺産や資料に関する情報の周知を図った。(年4回掲載)

調査事物：13 件

(4) その他

- ・ 財団ホームページの「事務局ブログ」を活用し、収蔵資料等に関する情報発信を行った。
- ・ 事務局内に図書の閲覧スペースを設置し、閲覧対応及び調査・研究への協力を実施した。
- ・ 博物館及び自治体等に対して所蔵する資料、画像の貸出を行い資料の活用を進めた。
- ・ 外部有識者との連携により、活動における公益性の担保及び内容の充実を図った。
- ・ 日本鉄道保存協会総会・見学会参加（9/16、17）や現地調査の機会を利用して事物の管理団体や保存団体との情報交換を実施した。
- ・ 鉄道150年に合わせて、部外団体と共同で鉄道遺産に関する講座・見学会「明治の鉄道遺産探訪」を開催した。（9月～12月に7回開催）

II 財団運営に関する事項

1 本年度の役員等の異動

(1) 理事

《退任》 高野 光司

以上 令和4年6月17日付

《新任》 美里 隆司

以上 令和4年6月17日付

(2) 監事

《退任》 藤原 嘉人

以上 令和4年6月17日付

《新任》 小嶋 裕之

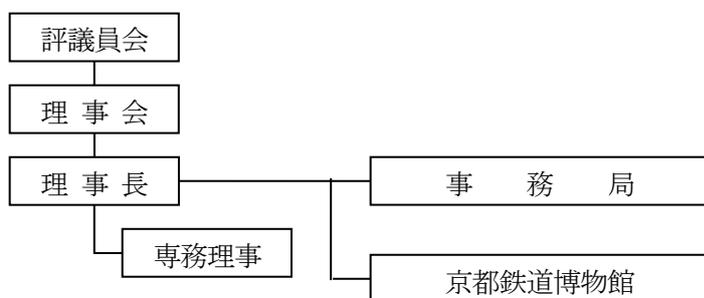
以上 令和4年6月17日付

令和5年3月31日現在の評議員、理事、監事は[別表2]のとおりである。

2 財団組織

(1) 組織

(令和5年 3月31日現在)



(2) 構成員

(令和5年 3月31日現在)

事業所名	職員	嘱託	計
事務局	4	—	4
京都鉄道博物館	16	1	17

- ・役員を除く。
- ・京都鉄道博物館の職員のうち2名はJR西日本からの出向者。
- ・京都鉄道博物館の職員のうち2名は事務局兼務。
- ・上記以外に事務局にて臨時雇用員を2名、京都鉄道博物館にて準職員1名、臨時雇用員1名を雇用している。

(3) 会議

ア 評議員会

第19回評議員会（定時評議員会）

(ア) 日 時 令和4年6月17日

(イ) 場 所 ホテルグランヴィア大阪

(ウ) 目的事項

① 決議事項

第1号議案 令和3年度決算の件

第2号議案 理事1名の選任の件

第3号議案 監事1名の選任の件

② 報告事項

報告1 令和3年度事業報告の件

イ 理事会

第42回理事会

(ア) 日 時 令和4年5月23日

(イ) 場 所 ホテルグランヴィア大阪

(ウ) 目的事項

①決議事項 第1号議案 令和3年度事業報告の件

第2号議案 令和3年度決算の件

第3号議案 第19回評議員会（定時評議員会）招集の件

第4号議案 西日本旅客鉄道株式会社に係る代表理事理事長の利益相反取引の承認の件

②報告事項 報告1 職務執行状況報告の件

報告2 西日本旅客鉄道株式会社に係る代表理事理事長の利益相反取引の報告の件

報告3 資金運用報告の件

第43回理事会

(ア) 日 時 令和5年3月3日

(イ) 場 所 ホテルグランヴィア大阪

(ウ) 目的事項

①決議事項 第1号議案 令和5年度事業計画書の件

第2号議案 令和5年度収支予算書の件

第3号議案 令和5年度資金調達及び設備投資の見込みの件

③報告事項 報告1 職務執行状況報告の件

(4) 内閣府へ届出

・令和4年6月30日 事業報告等の提出

「令和3年度財産目録」「令和3年度貸借対照表」「令和3年度正味財産増減計算書」等

・令和4年7月8日 変更の届出（役員等の変更）

「役員等の名簿」「履歴事項全部証明書」等

・令和5年3月30日 事業計画書等の提出

「令和5年度事業計画書」「令和5年度収支予算書」「令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて」、「第43回理事会議事録の写し」

3 寄附金の受入れ

個人及び団体より寄附金の申し込みがあり、下記のとおり受入れた。

- ・一般寄附金 個人 19件（うち継続寄附6件）
団体等 1件

4 その他

(1) 内閣府公益認定等委員会事務局による定期立入検査を受検（9月）

(2) 財団事務局ブログ運営

- ・更新31回、年度累計99,563PV

(3) 寄附金の懇話活動

- ・ホームページ及び事務局ブログによる寄附お願いの掲載・発信
- ・団体、個人へのパンフレットの配布
- ・寄付月間（12月）の賛同パートナーへ登録し、期間中、事務局ブログでの周知、パンフレット・オリジナルカレンダーの送付等の寄附金懇話活動を実施。

III 関連事業

博物館来館者の利便に資するとともに、当法人が健全な発展を図るための収益事業として、京都鉄道博物館にて鉄道に関する各種のグッズ、土産品、飲食物などの販売を行い、下記の収益を得た。

単位：円

項目	物品販売収入	営業料収入	計
金額	5,245,500	21,026,678	26,272,178

[別表1]

令和4年4月1日～令和5年3月31日

	種 別		令和4年度 (千人)
京都鉄道博物館	個人	大 人	448.8
		大学生・高校生	18.7
		中学生・小学生	69.0
		幼 児	96.5
		計	633.0
	団 体	大 人	7.2
		大学生・高校生	7.2
		中学生・小学生	16.3
		幼 児	16.6
		計	43.3
	合 計		676.3

[別表 2]

評 議 員 名 簿

氏 名	現 職
伊藤 敦子	東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役
澤井 潔	公益財団法人鉄道総合技術研究所 監事
正司 健一	神戸大学名誉教授
多田 真規子	西日本旅客鉄道株式会社 理事地域まちづくり本部地域共生部長
南條 正幸	関西鉄道協会 専務理事
福山 隆夫	京都駅ビル開発株式会社 相談役

理 事 名 簿

役 職	常勤 ・非常勤	氏 名	現 職
理 事 長	非常勤	長谷川 一明	西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長
専務理事	常勤	前田 昌裕	公益財団法人交通文化振興財団 専務理事
理 事	非常勤	木村 法雄	東日本旅客鉄道株式会社 執行役員総務・法務戦略部長
理 事	非常勤	小澤 裕一	西日本旅客鉄道株式会社 理事経営戦略本部ロボ・レトコミュニケーション部長
理 事	非常勤	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会 顧問
理 事	非常勤	新田 雅巳	東海旅客鉄道株式会社 常務執行役員総務部長
理 事	非常勤	美里 隆司	公益財団法人日本交通公社 理事

監 事 名 簿

役 職	常勤 ・非常勤	氏名	現 職
監 事	非常勤	小嶋 裕之	西日本旅客鉄道株式会社 理事経営戦略本部財務部長
監 事	非常勤	竹山 健二	公認会計士

令和5年3月31日現在 五十音順 (敬称略)

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

令和5年5月

公益財団法人交通文化振興財団